

PTA活動紹介		高P連受付番号	1
PTA(学校)名	愛知県立ひいらぎ特別支援学校	部門	特別支援
活動テーマ	保護者同士の結びつき ～本校「しゃべり場」の取組～		
キーワード	PTA相談支援事業	ペアレントトーク	地域との連携
開催日	平成28年9月27日		
場所	名古屋市重症心身障害児者施設「ティンクル名古屋」(医療型障害児入所施設)		
時間	施設見学後12時から13時30分まで		
参加者	施設見学参加者22名中18名が「しゃべり場」に参加。(両親で参加も2組) 本校職員1名		
趣旨	本校では、平成18年度から、保護者が日々の生活に役立つことがらや抱えている共通の課題をテーマにして、「しゃべり場」という取組を続けています。気軽に情報交換することで、保護者同士の結びつきを強め、助け合えることを目指しています。 今回は、PTA進路指導委員会主催による施設見学会後にその場をお借りして、昼食をとりながら「卒業後の生活 ～施設の立ち上げについて～」を話題の中心として話し合うことで、肢体不自由がある児童生徒の卒業後の進路の話、中でも主に施設の立ち上げについて話し合いました。		
活動ポイント	日頃から関心の高い、児童生徒の卒業後の生活や施設立ち上げ等のための行政との連携等を話し合うことで保護者が今からできる取組についての認識を深めました。		
主体委員会名・講師名等	ひいらぎ特別支援学校PTA進路委員会 講師:指定管理者社会福祉法人むつみ会副理事長 松田昌久様、同理事 高嶋みえ様(現名古屋特別支援学校PTA会長)		
今までに実施してきた「しゃべり場」の取組例紹介	保護者控室での保護者同士の座談から発展 平成18年度 おしゃべりの場 平成22年度 月1回程度、「しゃべり場オープン」保護者同士の話し合いの場、「しゃべり場スーパー」講師を招いての勉強会を兼ねた話し合いの場を設定。 ・本校卒業生保護者を招いて(我が子の理解者を増やす) ・「ちょっと聞いてもいいですか」相談支援員を囲んで(市町の福祉制度について) (福祉サービス利用等についての保護者アンケートの実施) ・「ちょっと聞いていいですか?あんなこと、こんなこと」 (本校通学区の福祉課、相談支援センターの方との懇談) 平成23年度 相談支援機能を持たせ、地域別懇談会へと展開 ・「障がいのある人の卒業後の生活ぶりについて」 (各地区福祉課担当者、障がい者相談支援センター相談員参加) ・「親子・家族の関係について」(思春期の困りごと、同性、異性のかかわり、お風呂の悩み) 平成24年度 研修委員会、進路委員会主催の見学先等での開催 ・「先輩のお母さんを迎えて」(卒業後の様子、友達関係、仕事のこと、性の問題、親子のコミュニケーション、子供の自立) ・「私たちの使える防災」(講師:障害者相談支援センター)災害時に必要な物、避難所生活 ・「障害児の兄弟・姉妹へのケア」(思春期への対応・ケア)「メンタルヘルスケア」(講師:大学教授) 平成25年度 ・「障害のある人の卒業後の生活ぶりについて」(各市町福祉担当者、相談支援員)本校校内見学会 ・「思春期の男子の子、女の子、反抗期や体調の変化」 ・「レジャー・旅行について」(講師:旅行会社旅サポーター(介護のできる添乗員)) (同行介護、旅先でのヘルパー手配、バリアフリーに配慮した旅行の企画) ・「住宅(新築・リフォームについて)」(講師:住宅業者) ・「働いているお母さんの話」 平成26年度 ・「排せつについて」おむつやそのサイズ、パットについて、排せつ方法やトイレで工夫していることなど ・地元NPO法人職員との懇談「親の気持ち、子の気持ち」 平成27年度 ・「福祉車両見学会」本校保護者が日常使用する福祉車両を見せ合うことで、使い勝手の良し悪し等の情報交換を行った。 平成28年度 ・9月27日(火)「卒業後の生活 ～施設の立ち上げについて～」 ・12月6日(火)PTA進路施設見学会(東海市あじさい)後に予定。		
メール送信先	info@aichikoupren.org		

<ティンクル名古屋 施設見学の様子>

新しくきれいな施設であるだけでなく、設備が充実していること、保護者の宿泊室が2部屋あることなどに注目しました。
満床ではない状態。問い合わせや利用検討中の学齢児、医療的ケアのある卒業生が何件かある模様。どのようなケースなのかを伺いました。



昼食の様子を見学



入浴施設見学

<今回の「しゃべり場」の取組 >

「卒業後の生活 ～施設の立ち上げについて～」

PTA進路研修会主催の施設見学後に見学先のティンクル名古屋の研修室をお借りして昼食兼懇親会を開催しました。「しゃべり場」は、保護者が気軽に集い、心置きなく話し合う場で、今回も仕出し弁当を食べながらの話し合いの場でした。
講師には、指定管理者社会福祉法人むつみ会理事長松田昌久様 同理事 高嶋みえ様(現名古屋特別支援学校PTA会長)をお迎えしました。



話し合いの様子

- むつみ会と「ティンクルなごや」の設立までの経緯について
 - ・保護者同士の連帯の必要性
 - ・行政への粘り強い働きかけの必要性
- 講師の方は、愛知県重症心身障害児(者)を守る会会長なので、名古屋だけでなく、どの地域でも「守る会」としてバックアップする。
- 肢体不自由者が成人してからの生活で起こりうる二次障害について
- 在学中に保護者ができること

医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者をはじめ、それぞれの居住地での生涯にわたる生活の場の確保、施設づくりについての意識が高まりました。